

## 診療実績【回復期リハビリテーション病棟 3階東病棟】

2024年7月～2024年12月

病床数 ----- 40床  
 施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料3

入院数 ----- 77件  
 退院数 ----- 76件

※各病棟診療実績は回復期対象患者のみ

平均在棟日数\* ----- 79.6日  
 平均年齢 ----- 80.1歳

## 診療実績【回復期リハビリテーション病棟 3階西病棟】

2024年7月～2024年12月

病床数 ----- 40床  
 施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料3

入院数 ----- 81件  
 退院数 ----- 82件

※各病棟診療実績は回復期対象患者のみ

平均在棟日数\* ----- 72.0日  
 平均年齢 ----- 78.7歳

## 診療実績【回復期リハビリテーション病棟 4階病棟】

2024年7月～2024年12月

病床数 ----- 60床  
 施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料1

入院数 ----- 122件  
 退院数 ----- 116件

※各病棟診療実績は回復期対象患者のみ

平均在棟日数\* ----- 74.6日  
 平均年齢 ----- 80.9歳

\*平均在棟日数：実績算定の対象となった患者のみ

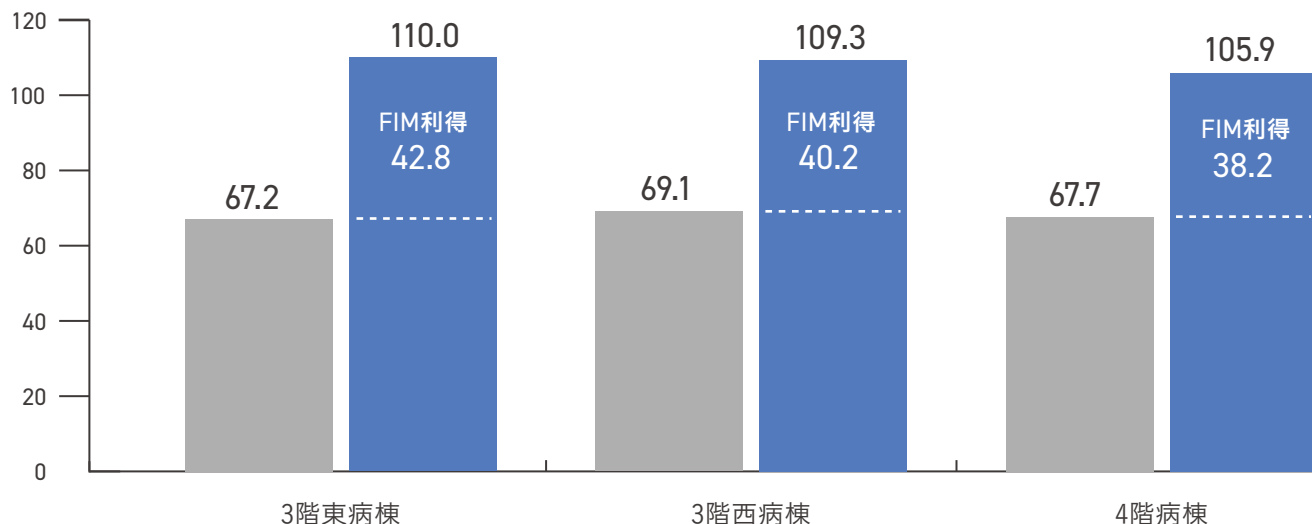
## 病棟別FIM

2024年7月～2024年12月

機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）の略で、日常生活動作をみる検査法です。  
 運動項目13項目、認知項目5項目で構成されており、合計点が高いほど日常生活の自立度が高いことを示します。

全国平均FIM利得 [2023年度]：24.9

入院時  
 退院時



## 回復期リハビリテーション病棟の実績指数

2024年7月～2024年12月

53.5

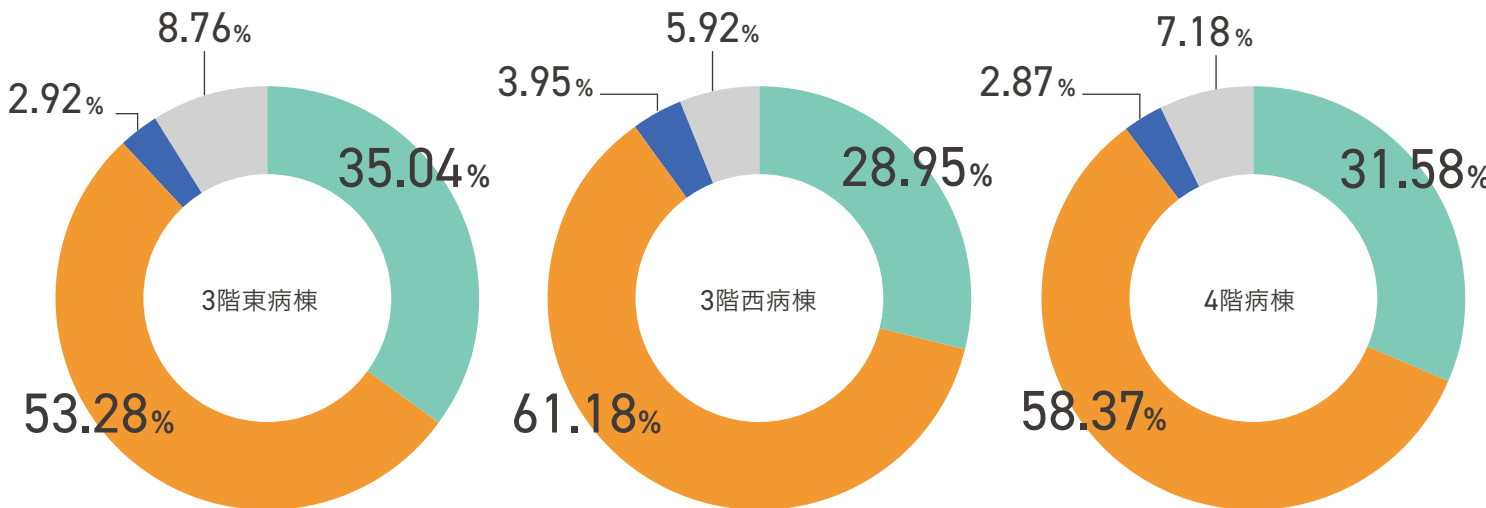
(基準値40以上)

厚生労働省により、質の高いリハビリを提供している回復期リハビリテーション病棟を評価する方法として『実績指数』が用いられています。実績指数は、入院している期間が短ければ短いほど、またADL(日常生活動作)の改善度が大きいほど高くなります。  
(基準値40以上) 厚生労働省の定める質の高い病院の基準として、40以上を基準としています。

## 疾患別割合

2024年10月～2024年12月

- 脳血管疾患等\*の発症後・手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態
- 運動器\*\*の神経、筋又は靭帯損傷後の状態
- 運動器\*\*の骨折の発症後又は手術後の状態
- 股関節又は膝関節の置換術後の状態
- 外科手術又は治療時の安静による廃用症候群



\*脳血管疾患等：脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等  
\*\*運動器：大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節

## 在宅復帰率

2024年7月～2024年12月

自宅等へ退院された患者さまの割合です。

回復期リハビリテーション病棟1.3の施設基準では、70%以上の在宅復帰率が求められます。(全国平均：78.1%)

3階東病棟

89.5%

3階西病棟

86.6%

4階病棟

81.0%

## 退棟患者数

2024年10月～2024年12月

回復期リハビリテーション病棟より退院・転棟された患者さまの人数です。

3階東病棟

44 件

3階西病棟

47 件

4階病棟

61 件